

〈H13-6-A:問題〉

次の文はわが国の平面直角座標系(昭和 43 年建設省告示第 3059 号)について述べたものである。

~ の中に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

この座標系は、日本全国を 19 の区域に分け、それぞれの区域ごとにガウス・クリューゲル図法で投影するもので、以下の特徴がある。

- ・ 投影法は、 図法である。
- ・ 座標は、縦座標を 、横座標を とする。
- ・ 座標値は、原点を $X=0.000\text{m}$ 、 $Y=0.000\text{m}$ とし、原点から北及び東方向を の値、南及び西方向を の値とする。
- ・ 縮尺係数は、中央子午線上で 0.9999、中央子午線から東西方向に約 90km 離れたところで 1.0000 となる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	正角	X	Y	負(-)	正(+)
2.	正距	Y	X	正(+)	負(-)
3.	正距	Y	X	負(-)	正(+)
4.	正角	X	Y	正(+)	負(-)
5.	正距	X	Y	負(-)	正(+)

<H13-6-B:問題>

次の文は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図を基図として、縮尺 1/50,000 の管内図を編集するときの地図記号の転位について述べたものである。間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 河川と鉄道が近接して並行しているところでは、鉄道を真位置に表示し、河川を転位した。
2. 境界と一条河川が近接して並行しているところでは、一条河川を真位置に表示し、境界を転位した。
3. 記念碑と三角点が近接しているところでは、三角点を真位置に表示し、記念碑を転位した。
4. 記号化して表示する二条道路(記号道路)の縁に水準点があるところでは、二条道路を真位置に表示し、道路の縁に水準点を転位した。
5. 国道と鉄道が近接して並行しているところでは、両者の中央の位置を変えず、双方を転位した。

<H13-6-C:問題>

図 6-1 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図の一部（1.2 倍に拡大、一部を改変）である。この図にある裁判所の建物の経緯度はいくらか。最も近いものを表 6-1 から選べ。

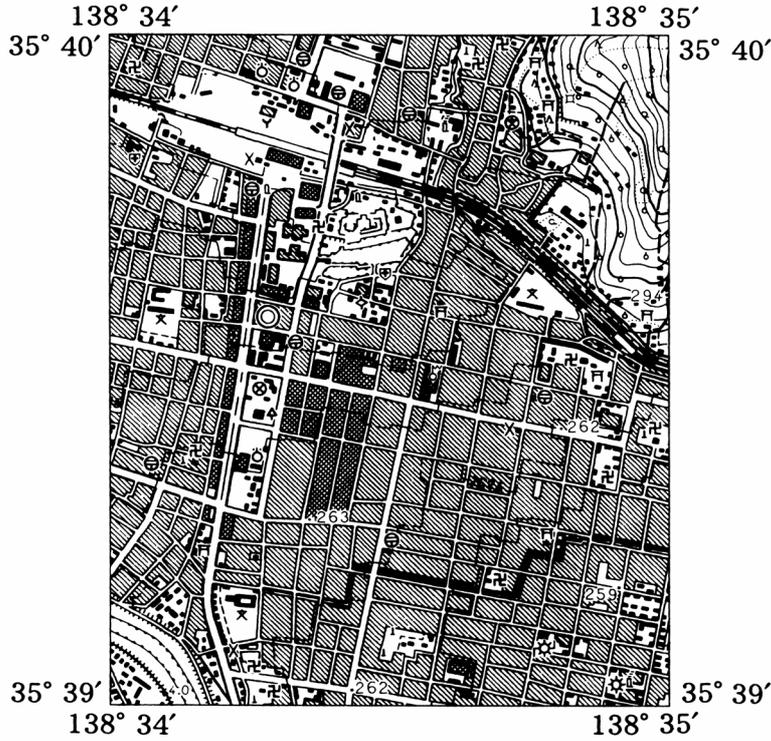


図 6-1

※縮尺は、正確に表示されない場合があります。

表 6-1

解答番号 経緯度	1	2	3	4	5
経 度	138° 34' 17"	138° 34' 16"	138° 34' 17"	138° 34' 35"	138° 34' 28"
緯 度	35° 39' 53"	35° 39' 26"	35° 39' 33"	35° 39' 29"	35° 39' 26"

〈H13-6-D:問題〉

GIS（地理情報システム）は、都市情報システム、災害情報システム、ナビゲーションシステムなどとして、国、地方公共団体などで、現在広く利用されつつある。次の1~5は、GISのデータベースの構築から利用までの流れの例を示したものである。最も適当なものを次の中から選べ。

1. データ作成・データベース化 → 資料収集 → 出力・表示 → 検索・解析
2. 検索・解析 → 資料収集 → データ作成・データベース化 → 出力・表示
3. 出力・表示 → 資料収集 → データ作成・データベース化 → 検索・解析
4. データ作成・データベース化 → 資料収集 → 検索・解析 → 出力・表示
5. 資料収集 → データ作成・データベース化 → 検索・解析 → 出力・表示